

## 平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	「21世紀における自立型人間を育成する公立小学校5,6年生のための英語講師養成コース」		
法人名	学校法人エール学園		
学校名	専門学校エール学園		
代表者	理事長 長谷川 恵一	担当者 連絡先	長谷川 恵一 TEL06-6647-0011
<p>1. 事業の概要</p> <p>小学校5,6年生の教科としての英語導入問題を、民間からメンタリングを学んだ優秀な英語講師を起用することによって解決する講座を実施する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>1. メンタリング (Mentoring) をベースとした考え方をもち、「英語を通して、社会との繋がりに気づき、自分自身、そして周りを大事にするという意識」を児童の心の中に蒔いて耕すことの出来る児童英語講師を育成。</p> <p>2. 公立小学校で「教科」としての英語を導入しなければならない「真の目的」を把握することができた。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>1. 女性が家庭や子育てを行いながら、自立して社会での役割が何かを気付き、本講座においては、公立の小学校で英語講師をして、貢献すべき意識向上へつながった。</p> <p>2. メンタリングスキル(統合の人間力・キャリアデザイン・ライフデザイン・メンタリングの基本・EQ理論実践・児童教育の重要性・コミュニケーションスキル)、英語落語、英語指導手順MATメソッド、英語の文字が持つ意味とその楽しさを味わえる方法を学んだ結果、人間力と英語指導スキルを兼ね備えた講師を養成することができた。</p> <p>③今後の活用</p> <p>1. 本講座で作成したテキストを活用し、公立の小学校で「教科」としての英語導入の際に、担任、外国人講師、民間からの講師に関わらず利用することができる。</p> <p>2. 公立小学校が講師を要請すれば、研修を受けた講師を派遣することができる。</p> <p>3. 児童の語学力、コミュニケーション能力の向上のみならず、本講座で作成したカリキュラムに沿ったアクティビティを通して貧困問題、環境問題など、国際的な視点から児童自身の生きる意味や職業観、社会での自己の役割やライフデザインに結びつけることができる。</p>			

#### ④次年度以降における課題・展開

1. 作成した授業案を使って指導できる講師を養成する講座が必要である。
2. 本講座では、時間的制限により、小学校5年生の、つまり1年次のレスンプランのみの作成にとどまった。2年次のレスンプランを作成する必要がある。
3. 小学校で学ぶ2年間の英語を踏まえた、中学校での英語の学習プランを作成する必要がある。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①キャリアアップ講座の実施

テーマ:「21世紀における自立型人間を育成する公立小学校5,6年生のための英語講師養成コース」

期間:平成18年10月1日 ~ 平成19年2月25日

受講者の属性:25歳から55歳までの英語の実力と指導経験のある民間の講師

受講者数:10月1日時点で51名だったが、就職決定者など最終的に43名が修了。

場所:エール学園

受講者の反応は別紙に記載

特色及び工夫した点:民間で不定期に児童へ英語を教えている女性を対象としていた為、開催日を日曜日に設定。また、子育てをしている女性が受講生の中心であることから一時保育施設を設け、子どもの保育に配慮した。